



アジアを知ろう！日本を知ろう！ 特集 アジアの中にある「日本」

韓国

世界に開かれた文明開化の港町
韓国の横浜！仁川の日本人街

1883年大韓帝国が開国すると、仁川港の近くには各国が専有できる「租界」が設けられました。

現在までチャイナタウンとなっている東側が、旧日本人街だった地区。今も当時の領事館(現仁川市中区庁舎)を中心に、日本の建物が残り、旧第一銀行仁川支店は仁川近代初期博物館として公開されています。また、日本人作家の戸田郁子さんが、六軒長屋を修復した「官洞ギャラリー」を運営。事前予約すれば周辺の案内もしてくれます。



日本の元皇族 李方子が暮らした 昌徳宮・楽善齋

昌徳宮で暮らしていた日本人がいます。皇族・梨本宮家から、大韓帝国最後の皇太子・李垠に嫁いだ李方子(りまさこ)です。

終戦は日本で迎えるも、身分も国籍も喪失。まだ韓国との国交もなく、ご主人は脳梗塞に。1963年になって韓国政府の計らいで韓国籍を得、昌徳宮に戻ります。ご主人の意思を継ぎ、障害児教育に取り組み、87歳で逝去。韓国国民勲章謹賞(勲一等)が追贈されました。



台湾

歴史と一緒に辿ってみたい
台北の日本統治時代の建物

台湾には、日本統治時代の建造物が多く残っています。代表的な総統府(旧:台湾総督府)の周りだけでも、司法院(旧:台湾総督府法院)、台湾銀行などがあります。



戦後の台湾史にも関わり深い 旧台湾放送協会

統治時代にNHKの台湾版として設立された放送局が、台湾放送協会です。現在は「二二八紀念館」となっています。

戦後、大陸から来た中華民国と民衆が対立する二二八事件が勃発。民衆はラジオ局を占拠。台湾人にはわかる日本語で「台湾人よ立ち上がれ！」と呼びかけたのです。



温泉も日本の遺産!? 北投温泉博物館

北投石で有名な北投温泉。日本が建てた公共温泉浴場が修復され博物館として公開されています。

良質なラジウム温泉と一緒にぜひ見学してみてください。



東南アジア タイ

旧日本軍が架けた「戦場にかける橋」
クウェー川鉄橋

タイ西部、カンチャナブリーのクウェー・ヤイ川の橋で、第二次大戦中に日本軍が架けたのが最初。映画「戦場にかける橋」の舞台でもあります。

戦中、連合軍に爆撃され、戦後賠償で日本が修復しましたが、アーチ部分は当時の面影を残しており、列車の他、徒歩でも渡ることができます。



東南アジア ベトナム

鎖国前の日本人商人の痕跡
ホイアンの来遠橋とカオラウ

中部ダナンに近いホイアンは貿易で栄え、16～17世紀頃、日本からも多くの商人たちが訪れ、暮らしていました。

1593年に架けられた屋根つきの来遠橋は「日本橋」とも呼ばれ、日本人が架けたと言われ、面影を残しています。

またホイアン名物の麺「カオ・ラウ」は、日本人が伝えた「伊勢うどん」が元だという話もあります。

